

きらりと笑顔が輝くまち

とばぐらしの魅力を再発見

企画財政課移住・定住係 ☎(25)1227

市では、移住相談のワンストップ窓口を設置し、都市部からの移住希望者を積極的に受け入れるため、切れ目ないきめ細やかな移住支援に取り組んでいます。

鳥羽へ移住してイキイキと生活している移住者のかたにスポットを当て、普段当たり前に感じている暮らしの中にある魅力を再発見したいと思います。

今回は、大阪での移住・定住フェアへ参加したことをきっかけに鳥羽へ移住した清水透さん・るり子さんご夫婦に鳥羽での生活についてお話をいただきました。



月替わりで提供される鳥羽の海の恵みたっぷりの鳥羽ちゃんぽん



清水 るり子さん 清水 透さん

～プロフィール～

- ・平成31年3月に大阪府から鳥羽市へ移住
- ・7ボクリキッチンにて花清水を経営

【鳥羽に移住するまでの生活は？】

堺市で和食の日本料理を中心に、懐石料理のお店をやっていました。

【鳥羽への移住のきっかけは？】

二人の子どもが独立したのをきっかけに、地方でゆったり仕事をするというかねてからの夢を叶えるため移住しました。

移住についてくわしい情報を集めるために、大阪で開催された移住相談会に参加して、そこで市の職員のかたが熱心に鳥羽の魅力を話してください興味を持ちました。

その後、ほかの市町村のパンフレットなどを見ましたが、一番心に響くものがあり、大阪からのアクセスの良さも決め手でした。

【移住することへの不安はありませんでしたか？】

移住した後、仕事がかまうか不安がありました。しかし、一昨年の夏に1か月間だけ賃貸ギャザリングスペース「クボクリ」でお試し営業をして、その体験が移住を後押ししてくれました。また、なかまちやまわりのかたにも親切にしてくれる、移住を前向きに考えることができました。

【移住する前の鳥羽の印象は？】

観光地であるということと、牡蠣などの食材の宝庫であるというイメージがありました。

【実際の鳥羽での生活や人付き合いは？】

当初は市営住宅となかまちとの間を往復する日々でしたが、市営住宅から安楽島町へ移ったことをきっかけに住民のかたに声を掛けられることが多くなりました。

その後、生活が落ち着いてきたころには知り合いが少しずつ増えてきました。家のすぐ目の前が海というのも今までにない生活です。

【鳥羽での暮らしの魅力は？】

都会とは異なり、交通量や防犯の面でストレスが少なく安心して暮らせることです。



住民のかたは人情味のある温かいかたばかりで、子どもたちの朝のあいさつや笑い声にホッとやされる安心感があります。なにより女性が元気になること、そしてその活躍の場があることが世界にもアピールできるところではないでしょうか。

また、教育の面でも子どもたちが道で知らない人とすれ違った際に、しっかりと挨拶ができるということも魅力の一つだと思っています。

【移住を考えているかたへのメッセージをお願いします】

移住という言葉を聞くとハードルが高く感じてしまうので、移住ではなく、引っ越しというぐらゐの気持ちで、行き来するののも一つの手段として気負わずに考えて欲しいです。